

会報 こぶし

「秋の研修バス旅行」について（報告）

総務企画部会

令和5年10月19日(木)、花北地区コミュニティ協議会（主管・総務企画部会）が主催する「秋の研修バス旅行」を実施したので、報告します。

2019年（令和元年）に発生した「新型コロナウイルス感染症」の位置づけについて、国が、いわゆる2類相当から今年の5月8日に「5類感染症類」に変更して規制緩和したこともあり、参加者79名が大型観光バス2台に分乗し、窓越しに紅葉風景を見ながらの研修を協議会事務局のご協力を得て実施することができました。

今、世界の国々で取り組まれている「持続可能な開発目標（SDGs）」中で、特に「人間活動が自然に悪影響をかけないことが求め

られ、私たち自身の学習が大切」との視点で秋田県鹿角市尾去沢鉱山跡地の再開発状況、小坂町の旧小坂鉱山事務所（国重要文化財）、康楽館（国重要文化財）を施設案内人の説明を受けながら見学し、

鉱山開発の歴史、環境汚染と解決策、工業製品の廃棄物リサイクルへの取り組みなどを学び、自分たちの生活環境改善への意識改革に結びつける研修となりました。



明治43年に建築の芝居小屋「康楽館」内部

旧小坂鉱山事務所では、小坂鉱山の歴史展示品を見ながら、鉱山労働者の労働時間が国内鉱山で最初に12時間交替から3交代8時間労働に改革して事故の大幅減少、生産性向上が図られたとのこと。また、鉱山使用の水力発電施設整備を行い、鉱山関係世帯には電気料は無料。

明治時代の芝居小屋「康楽館（明治43年8月建築）」は鉱山労働者の福利厚生施設として整備され歌舞伎、新劇、映画などが上演されたとの説明を受け、先進的と感じ



江戸時代の鉱山採掘(人形)



都市鉱山とは？
使用済み家電製品、携帯電話、パソコン等の金属材料を回収して再利用すること

年に発見され1300年余の歴史を持つ国内最大級の鉱山跡地と言われ、参加者全員が旧坑道に入り黄銅鉱の鉱脈や江戸時代の手掘り採掘、金を採取する「からめ場」、盛岡南部藩の鉱山奉行などの人形、近代における空気圧縮採掘機、電動機関車展示等を見て鉱山の歴史再現を学びました。

一方、精錬所から亜硫酸ガスが飛散し、煙害による山林樹木の枯死と山の荒廃、大雨時の濁流発生等の公害は、鉱山が原因者となつたが植林、治山事業による対策を行っている。山林再生にはアカシヤが最適と分かり500万本植栽し、現在ではアカシヤ蜂蜜が特産品として誕生したこと。

小坂鉱山では1980（昭和55）年から使用済み電子基板処理を開始した。1998（平成10）年には通産省（当時）、環境省が進めるエコタウン計画として家電リサイクル事業、リサイクル精錬拠点形成事業として「秋田北部エコタウン事業」として承認され、現在、世界最先端のリサイクル事業に取り組んでいるとのことです。

なお、秋田県金属鉱山研修技術センターでは、20名程度で研修・現地見学を受け入れてるので、応募をご検討願います。

また、8月20日(日)には9チームが参加してのグラウンドゴルフ大会が、愛宕公園グラウンドで行われました。ソフトバレーボール同様、久しぶりの事業であり試合形式を思い出しながらの運営となりました。ルールの確認、会場コースの設定などは経験している部員が何人か残っていたので順調に準備することができました。

しかし、コロナ感染者がでいるため体調に気を配つたり時期も真夏のため熱中症対策に配慮しながらの実施となりました。



結果は次の通りです。

優勝 桜台
準優勝 四日町二丁目
第3位 星が丘一丁目

10月15日(日)は小雨の降る中でしたが、ソフトボール大会が花巻北中学校グラウンドで7チームが参加して行われました。

結果は次の通りです。

優勝 四日町一丁目二区
準優勝 四日町二丁目

第3位 浅沢、星が丘一丁目

どの大会も選手を揃えるのが大変なようで、打ち合わせの時は必ず意見が出されます。

今後の課題ですが、競技方法、競技ルール等見直しをして行かなれば、ますます参加チームが少なくなると思われます。

あと一つの事業があります。部会の打ち合わせには次年度の事業に対しても新たな取組みができるよう考えていくたいと思います。

◆4年振りのにぎわい祭り

四日町二丁目二区 菊池加代子

7月初めに自治会長から、今年は通常の花巻まつりとにぎわい祭りが実施されると知らされました。気の早い女性部の中では、天候や参加人数のことよりも、まず4年振りのお祭りの勘をどうやって取り戻したら良いか、また、新会員で初めて踊る人をどうするのかの

思案が始まりました。地区内の踊りの先生（昔の娘さん・今ではとうに80歳を超えた）に相談したところ、「やりました」との一言で大いにいきましょう。みんなで盛り上げて自信をつけた女性陣でした。

会報で集めて貰い各班から最低でも1名は出して貰うことになりました。さて服装はどうしたら良いものか、浴衣を作つたらいいものか、Tシャツを揃えたらいいものか、迷いましたが、財産を増やすことは管理の負担もあることから先達が揃えた元からの地区の山車用半纏を使うことにしました。ただ紺の半纏だけでは物足りないことから、孫や子供に使つた「しごき」で櫻をするところを考えたのですがこれが悩みです。幸いにも裁縫の得意な方がいたことで掛布団の裏地で黄色と赤の櫻が出来上がりました。ちょうど自治会創立70周年

思案が始まりました。地区内の踊りの先生（昔の娘さん・今ではとうに80歳を超えた）に相談したところ、「やりました」との一言で大いにいきましょう。みんなで盛り上げて自信をつけた女性陣でした。

会報で集めて貰い各班から最低でも1名は出して貰うことになりました。さて服装はどうしたら良いものか、浴衣を作つたらいいものか、Tシャツを揃えたらいいものか、迷いましたが、財産を増やすことは管理の負担もあることから先達が揃えた元からの地区の山車用半纏を使うことにしました。ただ紺の半纏だけでは物足りないことから、孫や子供に使つた「しごき」で櫻をするところを考えたのですがこれが悩みです。幸いにも裁縫の得意な方がいたことで掛布団の裏地で黄色と赤の櫻が出来上がりました。ちょうど自治会創立70周年



の団扇も全戸配布していたことがら、これを持って踊ることにしました。お祭り1週間前には参加予定者が集まり1時間の練習、老体にムチ打つての先生の指導にそれぞれ勘を取り戻しておりました。当日の心配は天候だけでしたが、雨で幸いでした。

参加者の中には、足の痛いのを堪え休みながら踊つた方、子供を抱っこしながら汗だくなつて踊つた方、総勢24名で無事踊り納めることができました。休憩時間に「やはり祭りはみんなで盛り上げて行かなくてはね」と言う会話「行事に参加して楽しかった」と話してくれた方がありました。

桜台音頭は桜台小学校開校5周年に自性院の住職さんが作詞したもの。新花巻音頭は宮沢賢治生誕

100年に花巻市が作った踊りです。私たちの地域がこれからも長く繁栄していくよう踊り続けて行きたいものです。



地区だより

交通安全の励行

愛宕町行政課長

佐藤拓美

私は12年前から花巻神社の近くに住んでいます。

日々交通事故や道路交通法違反がなければいいなあと思いながら暮らしています。

桜台小学校方面より、花巻駅方面より、一日市方面よりと結構交

通量が多い路線です。朝夕は花巻北高校生が自転車で横断します。ほとんどの車が停止線で止まり、

横断させています。高校生も会釈し感謝を伝えていて、とてもほほえましい光景です。でも、心配なことがあります。

一つ目は、一時停止している車がそばに近付くと、急発進していくことです。ヒヤッとします。ほとんど高齢者の方が多いです。

二つ目は、花巻駅方面から来る車が花巻神社付近で一時停止しないことです。毎日のように検挙されています。一人一人が気をつけなければ防げることです。是非、交通違反ゼロをめざしましょう。



一時停止を怠り、検挙される場所 花巻神社下のT字路



朝夕の通学生や交通量が多い路線 桜台学童クラブ付近

自治会創立70周年

四日町一丁目二区 松田悦子

昭和26年8月7日、当自治会創立総会が開催されました。令和4年に創立70年を迎え、1年遅れではありました。記念冊子を作成し、記念品と共にアパートを含めた全430戸に配布致しました。記念冊子には自治会



には廣隆寺と順覚寺を公民館のように使用させていたいたようです。子供達の遊び場はお寺の境内であり、時々屋根瓦を壊した子供達も今は70歳を超えており、昔を懐かしく思い出しているのではないかでしょうか。当時は行政区名を四日町表・裏と称していたようですが、昭和31年4月から現在

30世帯と7倍強に増加しております。当時を紐解けば、現在の振興センターは馬券場であり、集会

の世帯は60戸でしたが現在では430世帯と7倍強に増加しております。当時を紐解けば、現在の振興センターは馬券場であり、集会

のスローガン「心やさしくしさえ

あいの心を育てる地域づくり」を

記載。記念品は令和4年に誕生した地区のマスコットキャラクター「ニックちゃん」の家族イラスト

を図柄としたトートバッグです。

本当にあれば昨年中に実施するも

のでしたが、諸般の事情により遅れてしまいました。昭和26年当時の世帯は60戸でしたが現在では430世帯と7倍強に増加しております。当時を紐解けば、現在の振興センターは馬券場であり、集会

の環境整備としての草刈り作業に積極的に取り組んでいた大いにあります。この方々は、この地に引っ越しして来て家を建て子供を育てて地域に馴染もうとしております。りがたいことだと感じます。

自治会のこれから80年・100年に向かって大いに期待したいと思つております。

の四日町一丁目二区と変更されています。

昔の下幅地区は田や沼があつた所でしたが、昭和54年の区画整理事業以来見違えるような住宅地になっています。一昨年の市の説明会ではこの地域は平均年齢が一番若い地域と聞いており羨望的となつております。現在体育部員のスポーツ大会への参加や青年部員

◆編集後記

町を見渡せばマスクの着用率は半々ぐらいに感じます。コロナ感染者がまだいることは時々聞きます。季節は冬に向かいます。今号に投稿いただいた皆様に感謝を申し上げますとともに、地域の方々を含めコロナはもちろんインフルエンザにならないように気をつけたいものです。

編集長 菊池加代子